

(案)

平成29年 月 日

一宮市長 中野 正康 様

一宮市総合計画審議会

会長 豊島 半七

第7次一宮市総合計画について（答申）

平成29年6月5日付けにて諮問のありました表記のことについては、審議過程で出された意見、要望を付して、下記のとおり答申します。

記

第7次一宮市総合計画は、本市の状況及び社会情勢の分析を踏まえ、今後の本市の総合的かつ計画的な市政運営の基本となる計画を目指したものであり、その内容はおおむね妥当と判断いたします。

計画の推進にあたっては、審議の過程で出された意見、要望を十分考慮いただくとともに、市民のまちづくりへの参画や本計画の実効性を確保することに留意し、本市のめざす将来像の実現に向けて、今後の市政運営を行われるよう要望します。

基本計画全般

○計画の推進にあたり、必要に応じて事業の見直しを行うなど、適切な進捗管理に努められたい。

Plan 1 健やかにいきる

- 受診率の低いがん検診については、その向上を図られたい。（施策1）
- 仕事と子育ての両立を支援するために、できる限り希望する保育園や放課後児童クラブに入所できるよう制度・事業の拡充に努められたい。（施策2）
- 市民病院と地域の医療機関との、より一層の連携に努められたい。（施策3）
- 高齢者の介護、介護予防、生活支援には、地域の多様な主体との連携を進めるとともに、認知症サポーターを増加させるなど、市民の介護への理解促進に努められたい。（施策4）

Plan 2 快適にくらす

- 民間事業者のリサイクル状況も把握しつつ、引き続き、ごみのリサイクル率の向上に努められたい。(施策 6)
- ごみの回収場所については、引き続き適切な指導・助言をされたい。(施策 6)
- 市民の幅広い方々が対象となるような環境教育に取り組まれたい。(施策 8)
- 公共下水道については、社会状況に鑑み適切な対応をされたい。(施策 10)
- 自転車の交通事故対策は、家庭・学校・地域も一体となって取り組まれたい。(施策 13)

Plan 3 安全・安心を高める

- 液状化対策や落橋防止対策について、優先順位を考慮しつつ検討されたい。(施策 14)
- 集中豪雨などによる治水対策について引き続き推進されたい。(施策 14)
- 災害時に自力で避難できない方への支援に努めるとともに、学校との連携も密にされたい。(施策 15)
- より一層の高齢者の自転車・自動車の安全対策に取り組まれたい。(施策 17)

Plan 4 活力を生み出す

- 育児休業や女性の登用など、一事業所として市も率先して取り組まれたい。(施策 21)
- 農産物のブランド化について、より一層取組を推進されたい。(施策 22)
- 幹線道路は災害時の緊急用の道路でもあるため、隣接市町と連携しながら整備に取り組まれたい。(施策 23)

Plan 5 未来の人財を育てる

- 地域を巻き込んだ子どもたちへの健全育成活動に、より一層取り組まれたい。(施策 24)
- 観光部門と連携するなど、本市の歴史や文化の周知方法についても、今後、検討されたい。(施策 28)

Management 2 持続可能で未来につなげる

- インターネットによる情報入手が困難な高齢者世帯にも、情報格差が生じないように努められたい。(施策 6)
- 市民との協働は、より多くの団体を巻き込んで展開していくよう努められたい。(施策 7)